



園だより かけはし

キッドワールドこども園

令和6年7月1日

梅雨はまだ続いていますが、せみの声がきかれるようになり夏の訪れを感じさせてくれます。

さて、6月15日(土)3・4・5歳児、22日(土)0・1・2歳児の保育参観に参加していただきありがとうございました。保育参観では、朝の集まりや歌、活動の様子など普段見ることの出来ない園での子どもの様子を見て頂くことができたのではないかと思います。

7月から子どもたちが大好きなプール遊びが始まります。プール遊びはもちろんこと、泥んこ遊び、色水遊び、フィンガーペインティングなど遊びの計画をしています。その中で、何度も繰り返し遊び込んだり、試したり、感じたりしていき、感じたことを表現していけるようにしていきたいと思います。



行事予定

日	曜日	園児に関すること
1	月	プール開き
2	火	歯科検診
4	木	Kids English
5	金	七夕集会
9	火	身体計測(4歳児)、聴力検査(5歳児)
10	水	身体計測(5歳児)、聴力検査(3歳児)
11	木	身体計測(3歳児)、聴力検査(4歳児) Kids English
12	金	弁当日、身体計測(2歳児)、聴力検査(予備日)
16	火	身体計測(1歳児 Aクラス)
17	水	身体計測(1歳児 Bクラス)
18	水	Kids English、身体計測(0歳児)、健康診断
22	月	避難訓練(火災)
24	水	誕生会
25	木	Kids English

園児の送迎について

滝尾交番から地域に向けておねがいの手紙が配られました。その内容は、車同士の接触事故についてでした。

朝や夕方の送迎の際、仕事をしながらの子育ては時間に追われることが多いかと思えます。しかし、キッドワールドこども園周辺の道路は道幅も狭く、お互いに譲り合いの気持ちがないければ事故にもつながってしまいます。

しかし、事故が起きてしまっただけでは時間を巻き戻すことはできません。もう一度、送迎時や交差点でのスピードに気を付けていただければと思います。



お知らせ・お願い

- ※ 7月2日(火)に行われる、歯科検診の日は、まだ受診をされていない園児が対象となります。当日は、なるべくお休みをされないようお願いいたします。
- ※ 7月の弁当日は、12日(金)です。子どもさんが楽しみにしています。忘れないようにお持ちください。
- ※ 7月の保育料の納入期間は、24日(水)・25日(木)・26日(金)の3日間です。

子どもの発達と言葉

総合園長 牧野 桂一

最近子育ての相談で、子どもたちの言葉にかかわる相談がととも増えています。なぜこれほど言葉にかかわる不安な事が起きているのかとすることを考えると、そこには「子どもたちの発達と環境」の問題が深く関係しているように思います。

はじめに子どもの発達の問題と言葉の関係について考えてみたいと思います。子どもたちに言葉が生まれてくるためには、まず言葉の発声の基盤となる身体の発達が保障されなければなりません。私達の言葉は「呼吸(息)に乗せて声帯を震わせながら発声」されていますので、言葉が出てくるためには、最初に呼吸運動が十分に発達していなければなりません。つまり声を出そうとするときの吐く息で声帯を震わせ、そこで出た音を喉と口の中で増幅させて、周りの人にも聞こえるくらいの音声にするからです。そこでは、肺から喉へと続く上半身の筋肉運動と口の周辺と舌の筋肉運動の発達がとても大切になります。分かり易く言うと「息をすること」と「食べること」の身体的機能の発達から言葉が生まれる基盤になっているのです。

子どもたちは、1歳を過ぎると言葉が、2語から3語くらい言えるようになりますので、それまでに腹筋を始めとした上半身の筋肉や口の周りの筋肉が十分に育っていかなくてはなりません。そのためには、この期の子どもの中心的な動きであるハイハイの動きがととも重要になります。最近では、このハイハイをあまりしないままに歩き出す子どももいると言いますが、ハイハイは呼吸活動とともに腕、腹筋、背筋、側筋、肩、首、顎などの筋力を育てるためには欠かせないものなのです。そのようなことも関連しているのでしょうか、ハイハイに問題のある子どもと「言葉の遅れ」との関係も指摘されるようになってきました。

埼玉県のさくらさくらんぼ保育園で斎藤公子さんが行っていたハイハイを取り入れた保育は、ハイハイと歌・リズム遊びを結びつけハイハイ遊びを楽しく展開し、言葉の発達につまずきのある子どもたちの成長に大きな成果を上げたという報告がなされています。

なお、近年では、乳幼児期のハイハイが脳の発達を支える重要な役割をしているとも言われていますので、子どもたちにハイハイのできる環境を整えていただくとそのような情報を多くの人たちで共有していただきたいと思います。

<エッセイに一言>

今回のエッセイでもある『子どもの発達と言葉について』少し角度を変えて調べてみました。

人間能力開発研究所グレン・ドールマンによると、人間の脳は0歳から6歳までが一番成長する時期で、脳の約80%が完成するといわれているそうです。また、脳には五感(見る、聞く、触れる、味わう、匂いを嗅ぐ)を通じて様々な刺激がインプットされています。

次に、腹這いとハイハイでは、成長していく中でどのような運動機能が育っていくかをみてみたいと思います。まず、腹這いで動けるようになると、背骨がしっかりとし、呼吸が深くなり、咀嚼力もついてきます。次に、ハイハイになると、脳に重要な刺激が伝わり、運動能力を発達してきます。具体的な例を挙げると、『体幹』『バランス感覚』『協応動作の基礎』が育つことや、エッセイにも書かれているように言葉の発達を促す役割もあります。

キッドワールドこども園では、遊びの計画を立てる際に、ただ遊ばせるのではなく、どのような育ちに繋がっていくかを考えています。今後も、ご家庭と一体となり子どもの成長を支えていきたいと思っています。



園長 高津 宏児